

氏名	相良 翔	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	犯罪社会学、福祉社会学、医療社会学、司法福祉論				
学位	博士（社会学）				
学歴	2011年3月 上智大学大学院総合人間科学研究科 社会学専攻 博士前期課程 修了 2018年7月 中央大学大学院文学研究科社会学専攻 博士後期課程 修了				
経歴	2011年4月～2014年3月 更生保護施設 補導員				
所属学会（役職）	ヨーロッパ犯罪学会，日本社会学会，日本犯罪社会学会（本部事務局会計委員），福祉社会学会，日本社会病理学会（常任理事），日本保健医療社会学会，関東社会学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	薬物依存からの「回復」：ダルクにおけるフィールドワークを通じた社会学的研究	単著	あり	ちとせプレス	相良翔	2019年12月
2	「若者/支援」を読み解くブックガイド	共著	あり	かもがわ出版	阿比 留久美, 岡部 茜, 御旅屋 達, 原 未来, 南出 吉祥 (分担: 46-47, ,170-171,134-135)	2020年2月
3	新時代の犯罪学 共生の時代における合理的政治政策を求めて (龍谷大学社会科学研究所叢書)	共著	あり	日本評論社	石塚伸一(分担:189-209)	2020年2月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	The Dispositions and Tendencies in Drug Treatment in Japan	共同		11th Asian Criminological Society annual conference, Cebu	○David Brewster, Sho Sagara	2019年6月
2	What is the "Role" of the Drug Addiction Rehabilitation Center (DARC)? -Focusing on the Narratives of DARC's Staffs-	単独		11th Asian Criminological Society annual conference, Cebu	Sho Sagara	2019年6月
3	The Concept and Actual Problems to Promote Employment for Ex-Offenders: desistance & employment support in Japan	共同		EURO CRIM 2019, Ghent	○Risa Tsushima, Sho Sagara	2019年9月
4	How employment affects desistance from crime and delinquency--A qualitative study in Japan: desistance & employment support in Japan (2)	共同		EURO CRIM 2020, Ghent	○Sho Sagara, Risa Tsushima	2019年9月
5	Drug Treatment in Japan: An Overview	共同		1st ISSDP Asia Regional Meeting, Hong Kong	○David Brewster, Sho Sagara	2019年10月
5	Drug offenders' Lived Experience of the Offenders Rehabilitation Facility	単独		1st ISSDP Asia Regional Meeting, Hong Kong	Sho Sagara	2019年10月
6	雇用主インタビューからみえてきたことーなぜ、協力雇用主を継続するのか？ー	共同		日本犯罪社会学会第46回大会（テーマセッションM）、淑徳大学	○相良翔,都島梨紗,竹中 祐二	2019年10月

(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省: 科学研究費基金（若手研究B）		薬物処遇重点実施更生保護施設における処遇とその効果に関する研究	研究代表者	2020年3月まで
2	文部科学省: 科学研究費補助金（基盤研究C）		薬物依存者の「回復」コミュニティのミクロ社会学的研究	研究分担者	2020年3月まで
3	文部科学省: 科学研究費補助金（基盤研究C）		批判的犯罪学の観点をふまえた非行からの離脱過程に関する研究	研究分担者	2023年3月まで
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	医療社会学	○	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療社会学における基礎的な理論や概念について講義し、医療について批判的に検討するための基礎的な能力を養成した。</li> <li>・医療社会学に関する基礎的なテキストをもとにグループ学習を行い、それぞれの学生が興味を持つテーマにそったレポートを作成できるように指導した。</li> <li>・疑問や質問についてもリフレクションペーパーなどを通じて随時聞き取り、講義に活かした。</li> </ul>	
2	現代社会と福祉	○	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉学における中核的な理論や概念について発展的な講義を行い、現代社会における福祉的課題について論理的に考察する能力を養成した。</li> <li>・毎回の講義においてリフレクションペーパーを用意し、学生の声を反映した。</li> </ul>	
3					
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	ソーシャルワーク演習Ⅲ		15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークに関する演習科目の担当者として関わった。</li> <li>・グループディスカッションやロールプレイに対して、適宜助言・指導を行った。</li> </ul>	
2	ソーシャルワーク演習Ⅳ		15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティアプローチに関する演習科目の担当者として関わった。</li> </ul>	
3	社会福祉専門演習Ⅰ・Ⅱ	○	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪・非行などの社会問題をテーマにした専門書の輪読を中心に展開した。</li> <li>・社会調査の方法および卒業論文の執筆に向けた準備についても行った。</li> </ul>	
3	社会福祉専門演習Ⅲ・Ⅳ	○	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修者の関心から論文を選択し、その内容についてグループ討議を行った。</li> </ul>	

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2020年2月から3月	・障害者施設・高齢者施設・社会福祉協議会において実習を行った。 ・巡回指導を行い、学生や実習指導者と協議し、よりよい実習になるよう指導や調整した。
2	IPW実習	○	2019年10月	・北埼玉地域担当教員として、それぞれの施設での実習が円滑に進むように環境整備や助言を行った。
3	ソーシャルワーク実習事前指導Ⅱ		2019年4月から5月	・実習経験をもとに学習をより深めるために、授業準備や資料作成を行った。
3	ソーシャルワーク実習事前指導Ⅰ		2019年10月から2020年2月	・実習に必要な知識や技能の習得のため、授業準備や資料作成を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業研究	2019年4月から11月	主指導	5名
2			主指導（指導教員）	名
3			主指導（指導教員）	名
			副指導（指導補助教員）	名
			副指導（指導補助教員）	名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	国家試験における学習相談	2019年4月から2020年2月	・国家試験受験者に対して、学習のアドバイスを行った。 ・『国家試験対策応援講座』を4回担当した。	
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	社会福祉士実習指導者講習会講師	埼玉県立大学	実習プログラミング論の講師	2019年6月
2				
3				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	BLUECROSS MOVEMENT（非行少年たちの社会的自立支援のための運動）	実行委員		任期なし
2	日本犯罪社会学会	本部事務局会計部委員（16期）		2020年10月まで
3	日本社会病理学会	選挙管理委員		2019年9月まで
3	日本社会病理学会	常任理事		2022年9月まで
3	犯罪・非行を研究する若手研究者ネットワーク	キャリア担当役員		2021年3月まで
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学科等における委員会等	3年次学年担当	2020年3月まで
2	学科等における委員会等	スタッフルームの運営	
3	学科等における委員会等	オープンキャンパスの運営	
4	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会委員	2020年3月まで
5	全学的委員会及びセンター業務等	IPW実習科目責任者会議	2020年3月まで
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			